



## ～非常時のエネルギー供給～

## 電源確保のための

## BCP対策特集



台風の大型化や大雨による浸水など、ここ数年で日本に**大きな影響をもたらす災害**が多くなっています。**BCP(事業継続計画)対策**に注目する企業が増え、企業の信頼性を高める上でも約に立つケースが増えています。今回はその中でも、**電源確保に関するBCP対策手法**をご紹介します。無料レポートも進呈しているので、ぜひお問い合わせください。

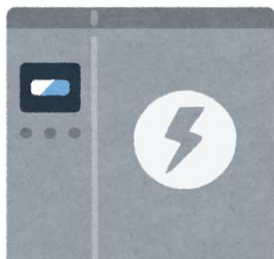
## 大規模災害発生時の電源確保の重要性



自家消費型太陽光

## ①大規模災害が起きた時の電気復旧は最長1週間かかる

大規模災害により停電が発生すると、**最長で1週間近く電気が停まる**ことがあります。2018年6月に起きた西日本豪雨では、約1週間もの間停電が続きました。2019年9月9日に直撃した台風15号では、約85万軒が停電し、翌日の9月10日になっても64万軒近くの停電が続きました。



蓄電池

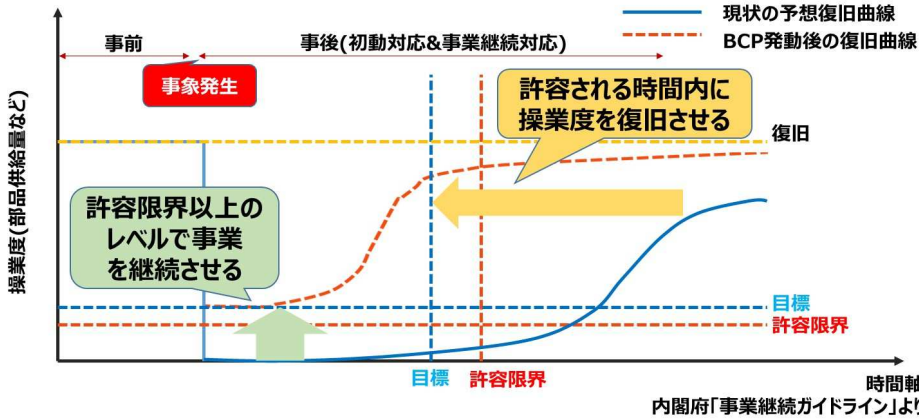
## ②停電したときには通信手段を確保するための電源が必要

大規模災害が起きた時、重要なのが**通信手段を確保すること**です。**従業員の安否確認や被害状況の把握、業務再開に向けた指示**等、多くの場合で通信手段があることが重要となります。また、**取引先への連絡を適切に取る**ことができ、**信頼関係の維持**にも繋がります。



# 電源確保は許容限界を把握して 適切なシステムを構築することが大切！

災害時に稼働させたい設備を把握し、電源供給システムを組む！



左の図は内閣府の事業継続ガイドラインで紹介されている図です。この図で示されている通り、有事の際には**操業度がゼロ**となり、自社の操業度の許容限界を下回る可能性があります。そのため、大規模災害が起こる前に**自社の操業の許容限界を把握し、電源システムを構築しておく**必要があります。

## 自家消費型太陽光と蓄電池にはそれぞれ補助金が利用可能です！



自家消費型太陽光

補助金活用可！

補助率

**1/3**

太陽光発電：設備費+工事費、事務費並びにその他必要経費の以下

自家消費型の太陽光は、電力料金削減方法としてこれまで普及してきましたが、ここにきて**BCP対策としての活用方法も注目**されています。

太陽光パネルを自家消費型として設置した場合、**通常時は電気を発電して節電対策**になり、大規模災害等による**停電時には非常用電源として活躍**します。また、時期によっては**補助金を活用**することも可能です。

補助金の申請は手間がかかりますが、弊社では申請代行サービスを実施しています。申請代行に関しては**着手金ゼロ**で対応しており、補助金が採択された場合のみ、**成果報酬**を頂いています。



蓄電池/UPS

補助金活用可！

補助額

**7万円/kW**

設備費の以下

蓄電池やUPSも電源確保には重要な役割を果たします。一瞬の停電が大損失につながる可能性がある大手の金融企業では、オフィスの**停電対策として約20台の蓄電池**を導入した事例もあり、停電時のリスク対策としてはまず考えるべきシステムです。

**自家消費型の太陽光パネルと併せて活用**することにより、一層の効果が期待できます。太陽光同様、時期によっては**補助金を活用**することができます。蓄電池も同様に申請代行サービスを実施しています。

## 自社に合った非常時の電源確保の手法が わかる“BCP対策レポート”を無料進呈中！

### ◆◆◆ お客様お問い合わせ記入欄 ◆◆◆

今回の記事内容につきまして、ご質問・ご不明な点などございましたら下記ご記入の上、FAXして頂くか、電話にてお問い合わせ下さい。

- 電源確保のためのBCPレポートを希望する！
- 電源確保のためのBCP対策について相談したい！

お名前 \_\_\_\_\_  
 貴社名 \_\_\_\_\_  
 ご住所 〒 \_\_\_\_\_  
 電話番号 \_\_\_\_\_

〒359-1188埼玉県所沢市南住吉8-19

TEL:04-2923-2203 FAX:04-2923-2212 担当:荒井 Email: eigyou@hiraiwa.co.jp